



R5.7.11

令和5年度 朝日中学校 学校だより

たのっこ

鶴岡市立朝日中学校

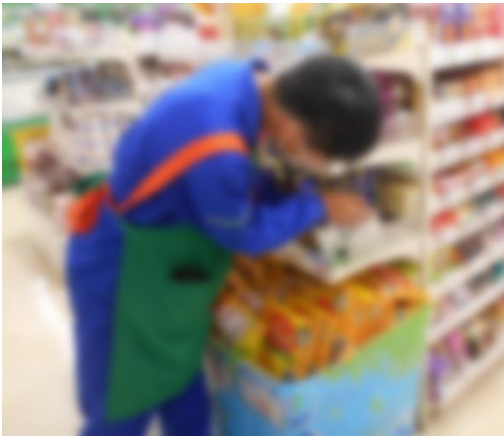
TEL:53-2092

Fax:53-2091

Mail⇒



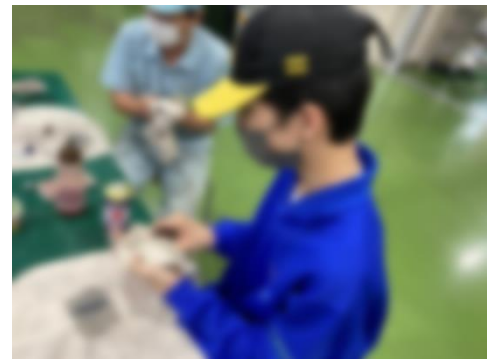
自分の生き方を考える ~2年生職場体験 7/5(水)、6(木)



今年度は、地域の10の事業所等にご協力をいただき、7月5日(水)、6日(木)の2日間、2年生が職場体験に行ってきました。事業所等の皆様には、この活動の趣旨にご賛同いただき、次代を担う子ども達のためにご協力をいただきましたことに感謝いたします。どうもありがとうございました。

小中学校には、国語や算数・数学といった授業だけでなく、「学級活動」や「特別の教科 道徳」、「総合的な学習の時間」という授業もあります。この職場体験は、学校独自のテーマを設定して探究的な学習活動を行う「総合的な学習の時間」の中で行っています。

朝日中では、この「総合的な学習の時間」で、地域を大切にしながら生きていく生徒を育てたい、社会への参画意識をもち、行動できる生徒を育てたい、という思いから、「朝日地域とともに生きる～朝日元気プロジェクト～」という学習テーマのもと、3年かけて系統的に取り組んでいます。1年生が5月に地域学習で大鳥地区の学習をしたこと(9月には大網地区に伺う予定です)や、3年生が修学旅行で、首都圏庄内あさひ会の皆様と交流し、朝日地域の良さについてプレゼン等をしてきたことも、この「総合的な学習の時間」の探究的な学習活動の一環として行っています。



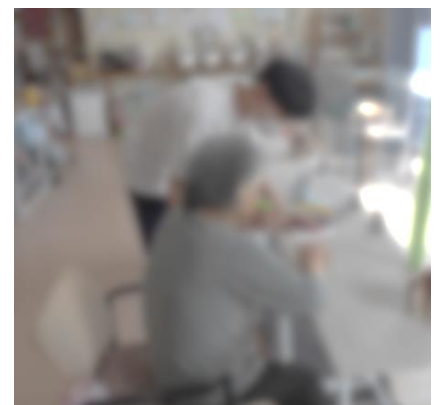
職場体験を実施するにあたり、仕事内容や、社会人としてのマナーを知ることと同様、働いている方々の話をたくさん聞いてきてほしい、と思っていました。お世話になった体験先の方は、なぜその仕事に就いたのか、どんなところに魅力を感じているか、やりがいを感じるのとはどんな時か、仕事をしていくうえで大変なことは何か、仕事を選ぶ上で大切だと思うことは何か。中学生のうちに何かしておくべきこと、身に

つけておくべきことはないか。…。

「出来上がった時の喜びを知ってほしい。」

ある事業所にご挨拶に伺ったとき、地道で単純な作業だけど、手を抜かずに取り組めば素晴らしい仕上がりになるような体験させてもらっているとき、指導してくださっていた方がおっしゃった言葉でした。

どの事業所の方も、これから生きる君たちに伝えたかったことがあっ



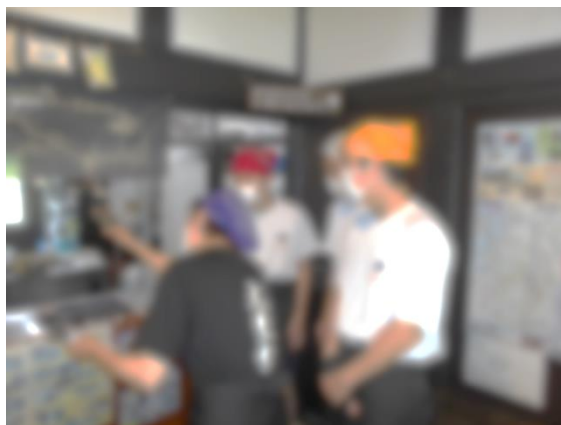


たから、職場体験を引き受けてくれたのだと思います。指導してくださった方々の思いやメッセージを感じとり、自分のこれからについて考えてほしい、と思っています。

この2日間の体験を通して、あるいは地域を学び、いろんな方とふれあい、いろんな知見を広めながら、皆さんには、中学校の3年間で、答えは出ないかもしれないけれど「自分はどう生きるか」について考えてもらいたいと思います。そして願わくは、大まかなものでも構わないから、将来の夢や希望、あるいは「こんな人になりたい」「こんなことができる人になりたい」という「理想の自分像」について考えてほしい、と思います。

そして、始業式や入学式でもお話ししましたが、こうありたい、という「理想の自分像」を叶えるために、「今」何をすべきか、を考え、取り組んでいく。そんな3年間になってくれればうれしく思います。

私が初めて自分の生き方について考えを巡らせたのは、15歳の春、中学を卒業した直後の3月でした。自分では、未だにその時思い描いた「理想の自分」にたどり着いたとは思っていませんが、これまでの自分を振り返ってみると、目標があったから頑張ることができたことや時期もあったし、その経験や時間によって、15歳の時よりは少しだけ理想の自分に近づくことはできている…かな、と思っています。(秋山)



地区懇談会への参加・ご協力ありがとうございました

6月28日の地区懇談会では、遅い時間から、また、足元の悪い中、大変お世話になりました。

保護者の方々及び来賓として多くの地域の皆様にもご参加いただき、貴重なお話をお聞きすることができました。

地区懇談会の開催にご尽力いただきました地域PTA委員の皆様、本当にありがとうございました。

ご報告いただいた内容については、集約後、必要に応じてお知らせしたいと思います。

7月16日に全日本吹奏楽コンクール田川地区大会が開催され、吹奏楽部が出場します。

また、7月22日から開催される県大会には、女子バレー部、柔道部、水泳部から出場します。今回の大会に臨むにあたって立てた目標を達成するために頑張ってきてほしいと思います。

出場する皆さんには、悔しい思いはしてほしくないな、と思っていますが、私だったら、勝ち負け以前に、練習でできたことを大会本番でできなかった時が一番悔しい、と感じる気がします。そこには、本番でできない要因があるんだと思いますが、本番で力を出し切るため、残された時間でその要因を取り除く努力をしたいと思います。出場する皆さんには、それぞれにとっての「万全の準備」をして本番に臨んでほしいと思います。頑張ってきてください！